

新年礼拝



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 1・1～9

戦いの備え

強く、また雄々しくあれ。

ヨシュア 1・6

目標

信仰の戦いのために、み言葉による備えをする。

1月6日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～9

強く、また雄々しくあれ。

6節

「ヨーシ！ ガンバルゾー！」と思うことがありますか？ どんな時？ 「お腹いっぱいおいしい物を食べたし」とか「ボクがキャプテンに選ばれたんだから」とかいう時かな？ このヨシュアさんの場合はちょっと、いえ、かなりちがっているのです。それはまず、神様からの力づけでした。神様がヨシュアさんを選んで、共にいるから、み言葉を守り、従って、戦いに勝ち、民を導いていくんだと言われたからでした。

いの
祈り

天のお父様、小さい私たちにも毎日いろんなことがあり戦いです。あなたによって強く雄々しく歩めますように。

1月7日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～2

主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに言われた。 1節

神様の偉大なしもべモーセも死んでいなくなりました。二百万人もの人々をあのエジプト脱出から、四十年の恐ろしい荒野の旅の間、そして今、目の前に広がる約束の地カナンへの入口にまでみごとに導いてきたモーセが、目の前から消えたのですから、民はとっても不安だったでしょう。しかし、モーセにつき従ってきたヨシュアを神様は選びになり、モーセのあと民を導くために立てて、大いに励まされたのでした。

いの
祈り

天のお父様、「あとを継ぐ人」の大切さを思い出します。小さい私たちも信仰の先輩たちにしっかり続いていきます。

1月8日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～4

あなたがたが、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、あなたがたに与えるであろう。 3節

「約束、ね！ ゆびきりげんまん」とやってもなかなか守れないのが私たちですね。でも神様はちがいます。一度お約束をしてくださったら、必ず、きっと、絶対に、何があっても、きちんとお約束を守り、果たしてくださるお方なのです！ 「わたしがモーセに約束したように」とある通りです。ヨシュアと民が「足の裏で踏む所はみな」あなたがたに与えると言ってくださいます。何と心強いことでしょうか。

いの
祈り

天のお父様、先にモーセと約束されたことを受け継いだ者たちの上にも果たしてくださることを知り感謝です。

1月9日（水）



ヨシュア 1・5

あなたが生きながらえる日の間、あなたが当たることのできる者は、ひとりもないであろう。 5節

これはまたまた、何という大胆なお約束ではありませんか！ ヨシュアさんが生きている間、どんな戦いがあるとしても、ヨシュアさんを打ち負かしてしまう人は誰ひとりありませんという約束です。なぜなら、ヨシュアさんが目で見えてきたとおり、あのモーセと共にいたように、あなたと共にいて、決して見放すことも見捨てることもしないからといわれます。あのモーセと共におられた神様が一緒ならきっと大丈夫！

いの祈り 天のお父様、ヨシュアがいつもモーセのそばにいて、あなたのみわざを見てきていたことはとても良いことでした。

1月10日（木）



ヨシュア 1・6～7

それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。 7節

ヨシュアさんの務め、それは神様が先祖たちに与えると誓ったその土地をちゃんと民に得させることでした。だから、「強く、また雄々しくあれ」と励まされます。なぜならその務めはとても重いものですから。しかし、それを成しとげる秘訣があります。モーセが命令として与えた律法を全部守って、右にも左にも曲がらないことです。それで勝利です。つまりVサインですよ！ 毎日み言葉に従って進みましょう。

いの祈り 天のお父様、み言葉を毎日読み、心に覚え、力を頂いて、いろんな事が起こる中でも勝ち進めることを感謝します。

1月11日（金）



ヨシュア 1・8

そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。 8節

「うーん、本当に幸せだな、祝福されてるな、神様、ありがとうございます」と思う日々がたくさんあるといいですね。いえ、そういう日が毎日だと、どんなにいいでしょう。そのためにはきょうのみ言葉にあるように、聖書のみ言葉を口から離さない、ということは、暗唱すること！ そして、昼も夜もそのみ言葉を思うこと、さらにはそのみ言葉のとおりを守って行うことだということです。さあ、実行してみよう！

いの祈り 天のお父様、本当の幸せと勝利の秘訣であるみ言葉をくださって心より感謝します。守り行わせてください。

1月12日（土）



ヨシュア 1・9

あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。 9節

『強く、また雄々しくあれ』とのみ言葉は、この1～9節の中に3回もあります（6～7、9）。これは神様からの命令なのですね。命令される神様は、またその命令に従える力もくださるのです。なぜなら、主なる神様が共にいてくださるので「強く、雄々しくあれ」なのです。モーセと共にいた神様、ヨシュアと共にいた神様が、きょうもこれから毎日、どこへ行くにも、私たち一人ひとりと共にいてくださいます。ハレルヤ！

いの祈り 天のお父様、力強いお約束があるので、もう恐れません。もうおののいたりふるえたりしません。感謝です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 3・1～17

約束の地に入る

ついに民はみなヨルダンを渡り終った。

ヨシュア 3・17

目標

神が約束し導かれたところに、信仰によって進み入る。

1月13日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1～17

ついに民はみなヨルダンを渡り終った。 17節

川を渡るにはどうする？ そこに橋があれば橋を通ります。舟かボートがあれば乗って渡ります。では、何もないければ、泳いで渡りますか？ 浅い流れなら、歩いて渡るでしょう。でもこの場面で、イスラエルの民は、相当大勢の人たちで、お年寄りもいれば、赤ちゃんもいる、泳げない人もいるということで、一体どうやってヨルダン川を渡って約束の地に入ったのでしょうか？ 『信仰によって』です。ついに民はみなヨルダンを渡り終わったのでした！

祈り

天のお父様、イスラエルの民に信仰を与えて、約束の地に導き入れられたあなたを賛美します！その様子を学ばせてください。

1月14日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1

ヨシュアは朝早く起き、イスラエルの民はすべてとともにシテムを出立して、ヨルダンに行き、それを渡らずに、そこに宿った。 1節

あなたは夜型？ 夜になるとすごく元気になるって、いつまでも起きていられる!? あるいは朝型!? 夜になるにつれて眠くなって、でも朝は早く起きることができ、シャンとしますよというタイプ？ 神様の大切なお仕事をした人たちはいつも「朝早く起き」たとありますよ。大切な一日を朝早くから「きよい日」としたのです。日曜日は朝早く起きて教会で神様を礼拝いたしましょう！

祈り

天のお父様、あなたからいただく一日一日はとても大切です。ヨシュアのように朝早く起きて過ごしたいです。

1月15日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 3・2～4

あなたがたは前にこの道をとったことがないからである。 4節

さて、「信仰によって」ということは一体どのようにしてだったのでしょ？ つかさたちは民に告げました、「主の契約の箱をレビびとたちがかきあげる時、立ち上がって彼らに従いなさい。そうすれば行く道がわかります。その道は前に通ったことのない道ですから。ただし900メートルぐらい離れてついていくのですよ」と。今までとおったことのない道に行くのはなんだか楽しみです。信仰によって進みましたよ。

祈り

天のお父様、民はほんとに大勢でしたが、つかさたちの言うことをよく聞いて、はじめての道も進んだことを知りました。

1月16日(水)

聖書
聖句

ヨシュア 3・5～6

あなたがたは身を清めなさい。あす、主があなたがたのうちに不思議を行われるからである。 5節

ヨシュアさんには、神様がなさろうとしておられた不思議なみわざがわかっておられたのでしょうね。だから、「身を清めなさい」とヨシュアは民に言いました。おそのの心をもって、身も心も清くして、神様の不思議なみわざを見せていただくように、ということでした。きっと民はみんな、「神様がしてくださる不思議って、どんなことだろう？」とドキドキワクワクしながら、身も心も清く備えたのでしょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたは本当にいろいろな不思議なことをしてくださるお方です。ますますおそれ敬っていきます。

1月17日(木)

聖書
聖句

ヨシュア 3・7～13

こうしてわたしがモーセと共にいたように、あなたとともにいることを彼らに知らせるであろう。 7節

「ヨシュアさんは本当にモーセの次に神様が選ばれた人だ、本当に神様がヨシュアさんと共におられる！」と、民の目にもわかるようにしますと、神様はヨシュアに言われて、作戦を教えられます。契約の箱をかく祭司たちの足がヨルダン川の水ぎわに行くと、すぐ水の中に踏みどまるように、すると上から流れくだる川の水はとどめられて、うず高くなりますと！ これは本当に民が一度も通ったことのない道でした！

いのちの祈り 天のお父様、あなたは選んだヨシュアを信頼し、また民にも尊い器として示されました。あなたが共におられることがしるしです。

1月18日(金)

聖書
聖句

ヨシュア 3・14～16

塩の海の方に流れくだる水は全くとせきとめられたので、民はエリコに向かって渡った。 16節

祭司たちや民たちは、いよいよヨルダン川に近づきました。刈入れの間中、水が岸一面にあふれているヨルダン川でした。四月頃のことであったので、ちょうど水がいっぱいときでした。みんなは「オオーッ！」ってきつと思つたことでしょうね。しかし、祭司たちの足が水ぎわにひたると、どうでしょう!! 上から流れくだる水がとどまるではありませんか！ 何と、何と、民は「信仰によって」かわいた地を渡りました。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉に従う時、偉大なみわざを見ます。今でも変わりないことを信じて期待します。

1月19日(土)

聖書
聖句

ヨシュア 3・17

主の契約の箱をかく祭司たちは、ヨルダンの中のかわいた地に立っていた。 17節

「えーっ！ 大丈夫かな～？ 水がドドォって、また流れてこないのかな～？」と、だれも思わなかったのです。エライ!! そんな堅い信仰を私たちも持ちたいものですね。祭司たちは言われたとおりにヨルダン川の中のかわいた地にずーっと立っていました。民が（…さて、何十万人、何百万人いたのかな？）みーんな渡り切るまでね。「そしてついに民はみなヨルダンを渡り終った」、渡り切ったのです！ ハレルヤー！

いのちの祈り 天のお父様、何という感激の瞬間だったことでしょう。約束の天の御国に行くまであなたを強く信じ続けます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 24・14～15

ヨシュア③ 神に仕える決心

わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。ヨシュア 24・15
自覚的な選択と決心をもって神に仕える者となる。

目標

1月20日（日）

聖書
聖句

ヨシュア 24・15

わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。 15節

今日の言葉は、110歳で亡くなるヨシュアが最後にのこしたメッセージです。

わたしたちも人生をふりかえると、きっと色々なことが思い出されて、あんなこともしたな、こんなこともあったなって思うだろうね。

でも、どれ一つとっても、自分の力だけでできたことなんてなく、神様のお守りと助けがあったことをきっとわかるようになるよ。

あなたは、その神様への感謝や信仰を、どのくらい家族やまわりの人たちにバトンタッチできるだろう？

一生、いっしょに神様を信じ、仕えていけるわたしたちでいようね。

祈り

天のお父様、一生あなたを信じて仕えていけますように。

1月21日（月）

聖書
聖句

ヨシュア 24・14

それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え、 14節

ちょっとスゴワザができる人に「今の神じゃね？」っていう人、増えたよね？

でも神って？ どこにでもあって、だれでもがんばれば神になれるなら、この世界は神様だらけで、なんて薄っぺらい神様なんだろう…。

本当の神様は、この世界を造り、人を造り、支配しておられるたった一人の神様だよ。

あなたは、その神様を何よりもだれよりも尊敬していますか？ 神を恐れるって大事！！

祈り

天のお父様、あなたこそ、たった一人のわたしの神様です。あなたを尊敬し、たいせつにします。

1月22日（火）

聖書
聖句

ヨシュア 24・14

それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え、 14節

「まこと」ってことばには「完全になった」って意味があるんだって。神様を知らなかったときは、罪の中にいて、神様を神様だとも思わなかったし、神様がわたしたちを救って永遠の命をくださることも知らなかったよね。

でも、もうイエス様を信じたときから、一人ひとは造りかえられ、新しくなって、神様に仕えることができるようにされたんだ。

罪の世界からぬけだして、新しい、まことの心で、神様に仕えていこう！！

祈り

天のお父様、古い自分ではなく、新しく造りかえられたまことの心で仕えていきます。

1月23日(水)

聖書
聖書

ヨシュア 24・14

それゆえ、いま、あなたがたは主を
恐れ、まことと、まごころと、真実と
をもって、主に仕え、 14節

「真実」はゆり動かされない心だって。

いつも神様を信じているつもりでも、ほんの
小さな楽しみや悲しみに出会っただけで、心は
ぐらぐら…。だから、たんに教会に行くぐらい
ならできても、心をまっすぐに神様だけに向け
て信じ続けるって、むずかしいね。

ただ、どんなときも、神様の真実はいつも、
だれに向かっても変わらないよ。あなたも、真実
の、揺るがない心で、どんなときも、神様を信
じつづけ、従いつづけてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、ぐらぐらしやすい心を守っ
てください。ゆらぐとき、あなたのわた
しへの真実を思い出せますように。

1月24日(木)

聖書
聖書

ヨシュア 24・14

あなたがたの先祖が、川の向こう、
およびエジプトで仕えた他の神々を
除き去って、主に仕えなさい。 14節

神様とあなたの大切なものをならべてみて、
どっちをとる？って聞かれたら「神様」と答え
るのはかんたんかもしれないね。でも、聖書を読
むより、ゲームやテレビのほうが好きだったり、
お祈りよりも占いやおまじないにたよる、なん
てことないですか？

だから、今、自分がなにをいちばんにしてい
るのか、本当はなにをいちばんにしないといけ
ないのか、よく考えてみてください。もし、神様
が喜ばれないことが心の中にあるなら、そのと
きは「除き去る」ことがたいせつ！

いの
祈り

天のお父様、あなたに喜ばれないもの
を心から除き去って、従っていきます
ように。

1月25日(金)

聖書
聖書

ヨシュア 24・15

あなたがたの仕える者を、きょう、
選びなさい。 15節

神様は、人が、みんなロボットみたいに
自動的に神様に従うようにわたしたちを造ら
ず、「選択＝選ぶ」力をくださっているね。中
には、神様じゃないものを信じたり、信じない
自分を信じて生きたり、信じたいのに従いたく
ないって人もいるよね。だから、人が「わたし
は神様を信じて生きます」と言う決心がないと、
永遠の命は受け取ることができないんだ。

でももし、神様を信じて生きる決心をし、
神様を愛して生きるなら、あなたの人生は神様
が、責任をもって導いてくださるんだよ。

いの
祈り

天のお父様、選ぶ力をありがとうございます。
あなたを愛して従う道を、いつも
選択できますように。

1月26日(土)

聖書
聖書

ヨシュア 24・15

ただし、わたしとわたしの家とは共
に主に仕えます。 15節

あなたはなぜ、神様を信じ、教会に行く
の？ お父さんお母さんが教会に行くから？
教会の先生やお友だちが好きだから？ もし
そうなら、家の人が教会に行かなくなったり、
好きな人が教会からいなくなったらこまりま
すね。

注目してほしいのは「ただし」ということ
ば。だれかが行くから、好きな人がいるから
神様を信じるのではなく、たとえそうでなく
ても、「神様があなたの神様だから、信じてい
く」のです。どんなときも神様を信じ続ける
あなたでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、だれかや何かがあから
ではなく、あなたが、わたしの神様だから、
信じて生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇23・1～6
主はわたしの牧者
主はわたしの牧者であって、わ
たしには乏しいことがない。
詩篇23・1

目標

主を牧者として生きる生涯の
幸いを味わう者となる。

1月27日(日)

聖書
聖句

詩篇23・1
主はわたしの牧者であって、わたし
には乏しいことがない。 1節

みんな知ってるモコモコの羊さん。げんきで
生きていくには飼い主さんのおせわがとてまた
いせつなんだよ。

だって、毒草やきれいなお水を見分けられな
くて死ぬこともあるし、草をさがしてまいごに
なるし、ひっくりかえったらもうおきあがれな
いし、こわがりで弱くてオオカミやクマに食べ
られることも!! でもね、羊さんのいいところ
は飼い主がだれかをちゃ～んと知っているとこ!

じつは人間も、神様のおせわがなければ死の
道に向かってしまう羊とおんなじ! あなたは
神様が飼い主だって、ちゃんと知ってますか?

いの
祈り

天のお父様、あなたの守りとおせわがな
いと生きられない、羊と同じわたし
です。今週もどうか助けてください。

1月28日(月)

聖書
聖句

詩篇23・2
主はわたしを緑の牧場に伏させ、い
こいのみぎわに伴われる。 2節

羊飼いは、いつも羊の安全と安心のために
いっしょうけんめいはたらきます。

羊も、羊飼いが守ってくれて、虫やオオカ
ミがいないばしょだとわかると草むらでごろ
ごろできるし、羊飼いがキレイなお水がある
ところにつれて行ってくれるから元気なんだ
ね。

神様が「こっちだよ」「こうしなさい」と聖書
の中からおしえるとき、それは、罪の草むらに
ねそべったり、悪の水をのんでしまわないよう
に、守ってくれてるってことだよ!

いの
祈り

天のお父様、わたしを守るためにくださ
るお言葉をありがとうございます。その
言葉の方向にすすめますように。

1月29日(火)

聖書
聖句

詩篇23・3
主はわたしの魂をいきかえらせ、
み名のためにわたしを正しい道に
導かれる。 3節

羊飼いは、自分の羊たちをとっても大事に
します。たとえ一匹だって、失いたくありませ
ん。ときには、まいごになったり、穴におちる
羊もありますが、そんなときは自分もきけんだと
わかっていてもいっしょうけんめい探すので
す!

神様は、ときどき罪の穴におちてどうしよ
もないわたしたちのことも放っておかれませ
ん。なんとかして救いだし、神様のよろこぶ
人生を生きてほしいと、イエス様を身代わりに
してまで魂をいきかえらせるお方です。

いの
祈り

天のお父様、なにがあってもわたしのこ
とを救いたいとねがっていてくださる
こと、そして身代わりのイエス様を感謝
します。

1月30日（水）



詩篇23・4

たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわざを恐れませぬ。あなたがわたしと共におられるからです。
4節

自分のいのち、たのしくてかんたんにゴールまでいけたらいいなあって思うよね？ だけど、生きてるんだもの、そんな楽にはいかないね。ときには、つらくかなしいこと、くるしいこともあるでしょう。でもわすれないで！

あなたの飼い主、神様はどんなときも、あなたを見はなさず、見すてないこと！ 神様がいつもいっしょにいてくれるからぜったいだいじょうぶ！ たとえ死がおそってきてもだよ！

いの祈り

天のお父様、自分で死に勝つことはできませんが、あなたはそんなときにもいっしょにいてくださるのですね。感謝します！

1月31日（木）



詩篇23・4

あなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めます。
4節

羊飼いは、いつもつえとむちを持って、羊といっしょに歩くんだって！ 羊をいじめるの？ いいえ！ 野原には、へびなど、あぶない生き物がでるでしょう？ 羊飼いは、自分を守れない羊のかわりに、むちやつえでたたかってくれるんだ！ あと、道がくらくて不安なとき、つえでさわられると安心するんだって！

神様は、罪や悪魔に、自分の力で勝てないわたしたちのことをよく知っておられるね。だからこそ、神様の力やたすけをもらって生きているんだよ！

いの祈り

天のお父様、わたしが罪や悪魔から守られているのは、あなたのつえとむちがあるからです。あなたにもっとたよります！

2月1日（金）



詩篇23・5

あなたはわたしの敵の前で、わたしの前に宴を設け、わたしのこうべに油をそそがれる。わたしの杯はあふれます。
5節

自分をおそってくる敵が目の前にいたら、ごはんどころじゃないよ！ って思う？ でも、神様の守りと強さはカンペキ！ だからこそ、「だいじょうぶ！ 安心しなさい、あなたを祝福するよ！ わたしが力づけてあげよう！」と、敵がいるときにもあなたのお世話をできるのです。

敵がいなくなるわけではないけれど、神様にたよりきっている人はつよくいられるんだ！ 神様の祝福があふれるあなたでいてね！

いの祈り

天のお父様、たとえ敵が目の前にいても、あなたによってつよくいられますように。あなたの祝福がわたしにもあふれますように！

2月2日（土）



詩篇23・6

わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。
6節

罪においかけられている人の人生のゴールは、とても悲しいものです。その人たちは、自分がどこに行くのかもわからないで生きているのです。でも、神様を信じているあなたは、はっきりとした答えがあるよね？ あなたのゴールは？

そう、天国！ たとえ、生きているときに成功したように見えなくても、どんなときも神様の恵みにおいかけられているなら、天国という、すばらしいゴールにたどりつくんだよ！ これからも神様といっしょに生きていこうね！

いの祈り

天のお父様、わたしにも、天国というはっきりしたゴールを見せてくださりありがとうございます。これからもあなたといっしょに生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇46・1～11
神はわれらの避け所
神はわれらの避け所また力である。
神を避け所としながら生きる。

目標

2月3日（日）

聖書
聖句

詩篇46・1
神はわれらの避け所また力である。
悩める時のいと近き助けである。

1節

「避け所」ってなんでしょう？ 災害がある
と避難所があちこちに開かれますが、その
避難所のように、危険から守られるよう避難す
るところのことです。聖書は、神様がわたした
ちの避け所になってくださる！ と言っていま
す。しかも、いつもあなたのそばにいて、すぐ
に避け所となり、助けてくださるんです。

まっさきに「神様、助けてください」と祈っ
てみて。だれに言うよりもまず、いちばん近く
におられる神様に。それが神様のところに避難
する方法なのです。

いの
祈り 天のお父様、わたしの避け所となってく
ださり感謝します。ピンチのときは、まっ
さきにあなたに助けをもとめます！

2月4日（月）

聖書
聖句

詩篇46・2～3
このゆえに、たとい地は変り、山は海
の真中に移るとも、われらは恐れな
い。

2節

今日は、いろんな災害が思いうかぶ個所です。
地震や台風のことを考えると、神様のことが
頭からふつとんでしまうくらい、不安になる
ことがあります。

でも今日の言葉は、どんなことがあっても
わたしたちは恐れない！ というのです。な
ぜ？ それは、天地をつくれ、支配される神様
が避け所となっていて、ともにおられるからです。
何がなくても神様がいっしょなら、安心なので
す。神様をほんとうに信頼するのなら、こんな
に力強く生きていけるんです！

いの
祈り 天のお父様、天地をつくられたあなたを
信頼して、どんなときも力強くあゆめます
ように。

2月5日（火）

聖書
聖句

詩篇46・4
一つの川がある。その流れは神の都
を喜ばせ、いと高き者の聖なるすま
いを喜ばせる。

4節

一つの川が流れている、神の都。そこは神様
がいつもいてくださるところ。神様の力が、い
つも川のように流れてあふれているところです。

あなたが神様と共にあゆんでいるなら、あな
たがいるところは神の都です。あなたのまわり
には、神様の力や恵みが川のように流れている
んですよ！ その流れはとまることなく、あなた
を守って、生かしてくれます。一度助けてもらっ
たら、つぎも助けてくれるのかな…なんて心配
いりません。なんどでも、いつまでもずっと、
神様はわたしたちを守ってくださいます。

いの
祈り 天のお父様、あなたと共にあゆみます。わ
たしをいつまでも守ってくださることが
わかって、本当に安心です。

2月6日（水）

聖書
聖句

詩篇46・5

神がその中におられるので、都はゆるがない。神は朝はやく、これを助けられる。 5節

神様が共におられるところは、なにがあってもぜったいにゆらぎません！ という信仰の言葉です。「朝早く」というのは、「空が明るくなるまえに」ということ。あなたが危険に気づくまえに、まっさきに神様は助けくださる、ということです。わたしたちが気づくまえに、すでに動いてくださっているなんて！

しっかり心にとめてください。あなたを、だれよりも早く助けくださるのは神様だということを。神様がまっさきに助けくださったので、今のあなたがいるのだということを。

いの祈り 天のお父様、わたしが気づくまえから、いつもあなたが助けくださっていたことを知り、感謝でいっぱいです。

2月7日（木）

聖書
聖句

詩篇46・6～7

もろもろの民は騒ぎたち、もろもろの国は揺れ動く、神がその声を出されると地は溶ける。 6節

人間の世界は、神様をかなしませる争いだらけです。国と国が憎みあったり、ほかの国を支配しようしたり、じぶんかってな戦争ばかりして今もつづいています。いったいこれからどうなっていくのかしら、と不安になりますね。

しかし、わたしたちが信じる神様はなんと「地を溶かす」神様…すごい言葉ですよ！ しかも、天の万軍、かぞえきれない軍勢が神様に仕えているんです。地上の軍隊なんか話にならないくらい、すごいんです。不安になったときは、神様がどんなお方なのか、思いおこしてください。

いの祈り 天のお父様、あなたは地上のどんな軍隊よりも力あるお方です。いつもわたしが平安でいられるように助けてください。

2月8日（金）

聖書
聖句

詩篇46・8～9

主は地のはてまでも戦いをやめさせ、弓を折り、やりを断ち、戦車を火で焼かれる。 9節

人間は神様に頼らないで、目に見える兵器に頼ろうとして、つぎつぎと兵器をつくってしまいます。でも神様が、人間がつくったおろかな兵器をみんなこわして、戦いをやめさせてくださるときがかならずくるのです。

わたしたちは、目に見えるものに頼りがち。神様より、あれがないと不安、これがないと不安。神様は、あなたが頼りにしているもの、いらぬものがあつたら、取りさってください。神様だけを信頼するように、みちびいてくださるのです。

いの祈り 天のお父様、わたしが目に見えるものに頼らないで、あなただけを信頼する人にならせてください。

2月9日（土）

聖書
聖句

詩篇46・1～11

静まって、わたしこそ神であることを知れ。わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、全地にあがめられる。 10節

神様が言われます。「やめなさい。わたしが神であることを知りなさい」。全世界の人々が、神様をあがめるときがくる。神様を信じないで、おろかな罪ばかりおかす人々も、神様を知るときが必ずくる…。これが神様のやくそくです。

神様を避け所として生きていきましょう。なにがあっても、神様の勝利はもうきまっているんですから。み言葉に心あわせて、みんなでこくばくしませんか、神様が避け所なのだから「われらは恐れない」！！

いの祈り 天のお父様、あなたを避け所として生きていきます。あなたを信頼して、恐れない信仰をわたしにあたえてください！



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇119・105～112
み言葉は足のとしび
あなたのみ言葉はわが足のとしび、わが道の光です。

詩篇119・105
御言葉によって進むべき道を知られて生きる。

2月10日(日)

聖書
聖句

詩篇119・105
あなたのみ言葉はわが足のとしび、わが道の光です。 105節

あなたは、真っ暗でな～んにも見えないところを、歩いたことがありますか？ 電灯もなにもないところ。見えないっていうのはこわいです。どこを歩いたらいいのか、わからない。へんなところに落っこちたり、ぶつかってケガをするかもしれないので、歩けなくなるんですよね。懐中電灯で、まずは足もとをてらさないと。歩く道が見えることがいちばん大切です。

わたしたちが歩いていく人生の足もと、道を照らしてくれる光があります。それは、神様のみ言葉。人生の道をてらして、正しい道と危険な道を教えてくれる光が、み言葉なんです。

いのちの祈り 天のお父様、わたしの人生の道をてらす、み言葉があたえられていることを感謝します。

2月11日(月)

聖書
聖句

詩篇119・106
わたしはあなたの正しいおきてを守
ることを誓い、かつこれを実行しま
した。 106節

真剣に！ 神様のみ言葉をまもって行っていることがわかる個所です。神様は、み言葉を聞く人をよろこばれます。聞いたことをまもり行う人のことを、さらによろこばれます！

わたしたちは、聞きっぱなしが多いのです。せっかく教会でみ言葉を聞いて、聖書日課でみ言葉を聞いているのに、生活のなかでぜんぜん行わない…。それじゃ、懐中電灯をもっているのにスイッチをいれないようなもの。真っ暗のまま。み言葉は真剣にまもって行ってこそ、ほんとうにてらしてくれる光だとわかるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉を、聞くだけでなく、真剣にまもり行う人にならせてください。

2月12日(火)

聖書
聖句

詩篇119・107
わたしはいたく苦しみました。主よ、み言葉に従って、わたしを生かしてください。 107節

この詩篇の作者が、苦しくてなやんでいることがわかります。神様のみ言葉をまもって行っても、つらいことはおこります。でも、この作者は、「神様のみ言葉はぜったい正しいから、そのとおりにするはずですよ！ み言葉のとおりになんてわたしを助けてください！」と祈っているんです。

つらいことがあったときも、み言葉を信じつづけるか、じつは神様は見ておられます。信じつづける人を神様はよろこばれ、必ずこたえてくださいますよ！ そのままではおわらない！

いのちの祈り 天のお父様、つらいときでも、あなたのみ言葉を信じつづけられますように。こたえてくださる神様を体験したいです。

2月13日（水）



詩篇119・108

主よ、わがさんびの供え物をうけて、
あなたのおきてを教えてください。
108節

この作者の苦しみは、まだつづいています。
苦しいことがつづくと、もんくを言いたくなりますが…、この作者は神様を賛美しています！
きっと神様は助けてくださる、だいじょうぶなんだ、って感謝の賛美をしているのです。

さらには、もっと神様のみ言葉を教えてください、と祈っています。つらいときこそ、もっとみ言葉を知りたい！というのです。つらいことがあるのは誰だっていやですね。でも、いつもよりずっと、み言葉が教えられるときでもあるのです。つらいのに、なんだかしあわせ。

いの祈り 天のお父様、つらいときも、あなたを賛美できますように。そして、み言葉をもっと知るチャンスにさせてください。

2月14日（木）



詩篇119・109～110

悪しき者はわたしのためにわなを設けました。しかし、わたしはあなたのさとしから迷い出ません。 110節

「わたしのいのちは常に危険にさらされています」「悪しき者はわたしにわなを設けました」とは、神様のみ言葉からはなれていく危険のことを言っているのです。…み言葉を行って何になるんだろ？ 自分の思いどおりにするのが、いちばんしあわせじゃないの？と、悪魔はゆうわくして、迷わせます。このゆうわくに負けてしまう人はおおいです！

悪魔に迷わされないように。み言葉からはなれるのは、道をてらす光をすてること。危険な道がわからなくなっちゃいます！

いの祈り 天のお父様、み言葉からはなそうとする、悪魔のゆうわくに迷わされないよう、わたしをまもってください。

2月15日（金）



詩篇119・111

あなたのあかしはとこしえにわが嗣業です。まことに、そのあかしはわが心の喜びです。 111節

「あなたのあかし」を「神様のみ言葉のやくそく」と読んでみることにします。この作者はつらい道をとおっていますが、「わたしは、永遠にかわらない、神様のみ言葉のやくそくを受けとったんだ！」と心からよろこんでいます。

神様は、イエス様をとおして、わたしたちに永遠の命をやくそくされました。これは、永遠にかわらない、神様のみ言葉のやくそくです。今、つらいことがあっても、わたしたちをまっているのは永遠につづくしあわせなのです。

いの祈り 天のお父様、わたしがつらいことばかりに目をとめないで、永遠の命としあわせが与えられていることを、よろこんでいけますように。

2月16日（土）



詩篇119・105～112

わたしはあなたの定めを限りまで、とこしえに守ろうと心を傾けます。 112節

神様のみ言葉を、人生の最後の最後まで、まもりつづけていきます、という心からの信仰の言葉です。み言葉が必要なくなることは一生ありません。わたしたちは、天国にいくその時まで、み言葉の光で道をてらしていただくのです。

自分の考えだけで生きていたら、「こんなはずじゃなかった…」と、きつと言うでしょう。み言葉に心を傾けて聞き従うなら、ぜったいあなたは「み言葉に従ってよかった！」と言います！ それはもう、感動のれんぞくの人生です。

いの祈り 天のお父様、わたしが人生の最後まで、み言葉に従えますように。み言葉のすばらしさをたくさん知る人生にしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

箴言1・7～19
主を恐れることは知識のはじめ
主を恐れることは知識のはじめ
である。 1・7
主を恐れる知恵ある生き方を身
につける。

目標

2月17日（日）

聖書
聖句

箴言1・7
主を恐れることは知識のはじめで
ある。 7節

学校では、あなたが将来、なりたいものにな
れるようにと、たくさんのことを教えます。
でも、日本の学校では、この宇宙も地球、生き
物や植物も、全部「ぐうぜんに生まれた」と
しか教えてくれません。じゃあ、わたしも…？

そんな世界に生まれたわたし、生きている
意味はあるのかな。だったら、勉強もしない
で、好き勝手にして生きていけばいいじゃん。

きっとそうなるでしょう。でも、わたしを造
り、知り、いつも見ておられ、正しく生きるこ
とを願われる神様がいるなら、あなたが見てい
ることも、学ぶことも、すごく意味のあるたい
せつなものになるよね。それが知識のはじめ！

いの
祈り

天のお父様、あなたが意味のある人生を
歩ませてくださるただ一人のお方です。

2月18日（月）

聖書
聖句

箴言1・8～9
わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、
母の教を捨ててはならない。 8節

「学ぶ」ことのスタートはあなたが生まれた
場所から始まるように、神様はお決めになりま
した。みんな人生のさいしょは、お話もでき
ないし、お世話されないと生きてこれなかった
んだもの。そして、自分の生まれた家で、生き
ていくこと、家の決まりごと、話し方などをま
ず学んだね。そして、神様はそれをお父さん
お母さんに任せただね。すごい責任！

おうちでの学びよりたいせつなのは、まず
神様がいちばんで、それから両親ってこと。

神様がどう願われているか知りながら、お
うちでよい「学び」をして知識を身につけよう！

いの
祈り

天のお父様、家と両親を学ぶ場所にし、
わたしを生まれさせてくださったこと
をたいせつにします。

2月19日（火）

聖書
聖句

箴言1・10
悪者があなたを誘っても、それに
従ってはならない。 10節

あなたに、何がよくて何が悪いことを教え
てくれる人がいるのも、まだ子どものうちだけ。

いつかは家をはなれ、大人の見えていないとこ
ろへ出ていき、自分の考えでどう生きるかを
決めていく日がきます。

そんなとき、悪魔は心にそっとささやき始
め、「だれも見ていないじゃないか。あなたが
得をすれば何をやってもいいよ」と誘うし、そ
れに負ける人がとても多いのです。

だから、神様を知っているあなたは、その罪
の問題に向かつてははっきり「ダメ」「したがわ
ない！」と立ち向かう勇気を持とう！

いの
祈り

天のお父様、罪をおかすかもしれない
出来事から、お守りください。ことわる
勇気を持てますように。

2月20日（水）



箴言1・11～14

「あなたもわれわれの仲間に加わりなさい、われわれは共に一つの金袋を持とう」と言っても。 14節

悲しいことに、だれかの心や体を傷つける人、だれかのお金をうばいながら生活している人、しかも、それを悪いことと感じずに生きている人というのは、今でもたくさんいます。

罪の世界に一步入ると、知らないうちに少しずつ、少しずつ、心がマヒして、大きな罪をおかすようになることを知ってください。

その罪の入り口は、あなたのすぐそばにあって、だれもが入ってしまうかもしれない。

でも、神様が知らない罪、放っておかれる罪はどこにもありません。神様の目を気にしよう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたはすべて知っておられます。罪の入り口に入らないよう、おまもりください。

2月21日（木）



箴言1・15

わが子よ、彼らの仲間になってはならない、あなたの足をとどめて、彼らの道に行ってはならない。 15節

学校にいれば、いろんなお友だちができるよね。そして、いろんなおさそいがあると思う。

友だちが集まって、人数が増えると、ちょっとしたいたずらや、一人じゃ勇気がでないけど、みんなでやればおもしろそうな「悪いこと」を考え始めることがあるんだよね。

悪いことにしたがわかないこともたいせつだけど、本当の友達なら「ストップ！だめ」と教えてあげてください。そして、どんな友だちを作るべきか、真剣に考えてみてください。

それはとてもたいせつなことです。

いのちの祈り

天のお父様、どんな友だちをもつか、本当の友だちが何か、立ち止まって考えられますように。

2月22日（金）



箴言1・16～18

彼らは自分の血を待ち伏せし、自分の命を伏してねらうのだ。 18節

なにか始める前に、それをやった後どうなるかを考えて行動していますか？

悪いことをする人は、自分がやった悪いことがいつか自分に返ってくることや、悪い行いはだれかにかねらず見られている、ということを知らない、と聖書は教えてくれます。

だから、よく考えてみてください。あなたがしようとしていることは、だれかを傷つけることか喜ばせることか？ 神様が喜ばれることか悲しまれることか？ よく考え行動することが、あなたを守ることにつながるんだよ。

いのちの祈り

天のお父様、なにか行動をする前に、よく考えられる心を与えてください。だれかを傷つけるのではなく、喜ばせる生き方をできますように。

2月23日（土）



箴言1・19

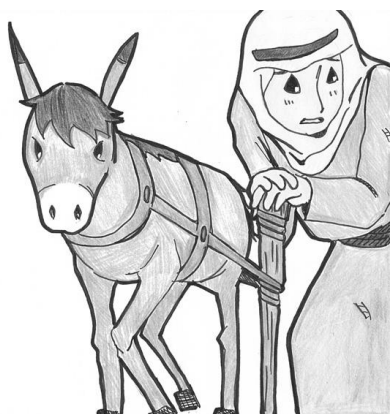
すべて利をむさぼる者の道はこのようものである。これはその持ち主の命を取り去るのだ。 19節

強盗がお金や宝石をねらって盗んだあと、警察に追いかけられ、銃で撃たれ…というニュースをよく見ます。お金がほしい、楽して生きたいと思っていたはずなのに、やってはいけないことをやってしまったために、最悪の結果になることがあるんだ。

聖書は、あなたに最悪の人生でなく、すばらしい人生を送ってほしいと、たくさんアドバイスをくれます。もし、どうしよう…と悩むときは、聖書から、人生の助けになる言葉をもらって、歩んでください。

いのちの祈り

天のお父様、最悪でなく、すばらしい人生のために、聖書からたくさんアドバイスをください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 9・51～62

前進への決意

手をすきにかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくない者である。 ルカ 9・62

目標

決然と十字架に向かわれたキリストを覚え、後ろを顧みず、主に従う。

2月24日（日）

聖書
聖句

ルカ 9・62

手をすきにかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくない者である。 62節

うっかりよそ見をして、しっばいしたり、けがをしたことはありませんか？

「すき」というのは、はたけをたがやす道具だね、今から土をたがやそうってときに後ろを見てると、そりゃあマズイよね。

イエス様に従いたい人も、イエス様じゃないものに気をとられてよそ見すると、神様の国に「ふさわしくない」って。

まっすぐ、よそ見しないで、ただ天国だけを見て、イエス様についていきたいね。

イエス様がみんなのお手本だ！

いの祈り

天のお父様、よそ見せず、まっすぐに、天国までイエス様と歩めますように。

2月25日（月）

聖書
聖句

ルカ 9・51～52

エルサレムへ行こうと決意して、その方へ顔をむけられ、 51節

「なんとしてでもやりとげる」と心に決めることってありますか？ わたしたちが決心するのは、だいたい自分のためばかりだけど、イエス様の決心はちがうね。

すべての人の罪を負って、エルサレムで十字架にかかって、地獄までくだる…そんな決心はイエス様にしかできないよね。

でもね、イエス様の顔は、もっともって高いところを見ておられました。そう、天国！

わたしたちも、決心が苦しいものになるようなときは、その先にある、天国と、神様からのこたえとに、しっかりと顔を向けていたいね！

いの祈り

天のお父様、イエス様が見上げたように、わたしも天を見上げていきますように。

2月26日（火）

聖書
聖句

ルカ 9・52～53

村人は、エルサレムへむかって進んで行かれるというので、イエスを歓迎しようとはしなかった。 52節

「わたし、あの人きらい、だって…なんだもん」と、ああだから、こうだからあの人はきらいだと、人は言うものです。

けれど、イエス様はどうか。「あなたなんかいやです。歓迎したくありません」という態度をとるその人たちを「じゃあわたしも」と、きらったでしょうか？

いいえ。イエス様は、たとえ人がどうであっても、イエス様を受け入れたくない人であっても、「愛しているよ」と言ってくださり、十字架の道に進んでくださる、そんなお方ですね。

いの祈り

天のお父様、イエス様の愛の大きさを教えてくださり感謝します。

2月27日（水）

聖書
聖句

ルカ 9・54～56

彼らを焼き払ってしまうように、天から火をよび求めましょうか。54節

「神様、あのいじめっ子をいたい目にあわせてください」なんて、お祈りしたことがある人はいませんか？

イエス様のお弟子さんたちも、サマリア人に火がくだるように、って思ったみたい。

でも、イエス様はそれをしかりました。

たとえ、自分にとっていやな相手でも、しかえしのために神様の力を利用することはよくないことだってわかるよね？

かえってそういう人のために、神様の愛と救いがわかりますようにとお祈りできるあなたでいてください！

いの
祈り

天のお父様、自分にとっていやな相手の人にも、救いがおとずれますように。

2月28日（木）

聖書
聖句

ルカ 9・57～58

人の子にはまくらす所がない。58節

どんな生き物にも、帰る場所ってあるよね？
アリにだって巣はあるのに、イエス様には寝る場所さえないと言うのです。

イエス様についていきたいと思った人は、イエス様についていけばきっと良いことがたくさんあると思ったかもしれないね。でも、十字架に進もうとするイエス様の気もちをわかってくれる人は、このとき、神様をのぞいてはだれ一人いなかったのです。

わたしたちも、自分のためにではなく、神様と人とのためにご自身をささげられたイエス様の心をわかるようになりたいね。

いの
祈り

天のお父様、イエス様の心を、少しでもわかることができますように。

3月1日（金）

聖書
聖句

ルカ 9・59～60

あなたは、出て行って神の国を告げひろめなさい。60節

せっかくイエス様が「あなたが必要だよ」って声をかけてくださっても、なかなか「ハイ！」って言えないわたしたち。

「お父さんがだめって言うから」「おともだちとやくそくしたから」「お勉強があるから」「今日（きょう）はぐあいがわるいから」と、イエス様との約束（やくそく）をあとにあとにしてはいませんか？

でも、ほんとうにいちばんにしないといけないのはなんだろう？ イエス様は「あなたは、出て行って…」と言われているよ。そう、イエス様のこと、神様のことだったね！

いの
祈り

天のお父様、言いわけばかりせずに、あなたのこと、イエス様のことをいちばんにかんがえられますように。

3月2日（土）

聖書
聖句

ルカ 9・61～62

主よ、従（したが）ってまいります、まず家の者に別（わか）れを言いに行かせてください。61節

いちど決めたことはさいごまであきらめずにビシっとできる人ってすごいね。でもさんねんなことに、人はより道（みち）したり休（やす）んだりするのが大好きなのです。

おへんじや、出（で）だしはよくても、すぐにポイとなげ出してしまいうならもったいない！

たいせつなのは「つづける」こと！

「イエス様に従（したが）います」と言ったなら従（したが）いつづけること、信（しん）じつづけること、ぜったいはなれないことがどんなにたいせつなことか、もっと感じてください。

いの
祈り

天のお父様、あきらめたりなげだしたりせず、さいごまで従（したが）いつづけます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 11・1～13
切なる祈り
求めよ、そうすれば、与えられるであろう。 ルカ 11・9

目標

切なる求めをもって祈る。

3月3日（日）

聖書
聖句

ルカ 11・1～13
求めよ、そうすれば、与えられるであろう。 9節

「お祈り、うーん、ちょっと苦手」「あててほしくない」なんて思っていますか？ 神様を知らない、信じない人たちは、「え？ お祈りって、あの、ひとりでぶつぶつ言う、あれ？」なんて言うかもしれません。ニセの神様、つまり偶像へのお祈りはその通りです。しかし！ 唯一、まことの、真実で、絶対なる神様へのお祈りは、全然、断然ちがうのです！ 生きておられて、ちゃんと聞いてくださって、求めれば必ず与えてくださる。祈らないと損ですよ。

祈り 天のお父様、今週はお祈りについて教えていただくと共に、本気で、切に求めて祈っていける子どもにしてください。

3月4日（月）

聖書
聖句

ルカ 11・1
主よ、ヨハネがその弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈ることを教えてください。 1節

あなたのまわりに、熱心に、いつもお祈りする人を見ているでしょうか？ お父さん？ お母さん？ おじいちゃん？ おばあちゃん？ 教会の牧師先生？ 教会学校の先生たち？ そういう人たちがすぐそばにいてくださるのは幸せです。イエス様のお弟子さんたちは、目の前にいつもお祈りをしておられるイエス様を見ていたのです。ついにある時、あまりにイエス様が楽しそうに(?) 心満たされてお祈りしているのを見て、「祈ることを教えてください」と頼みました。

祈り 天のお父様、イエス様のお弟子さんたちと同じように、わたしにも、祈ることを教えてください。お願いします。

3月5日（火）

聖書
聖句

ルカ 11・2～4
祈るときには、こう言いなさい、「父よ、御名があがめられますように。御国がきますように」。 2節

そこでイエス様が弟子たちに、こう祈りなさいと教えてくださったのが、いつも皆さんが教会学校でお祈りしている「主の祈り」なのです。もう全部覚えてお祈りできる人もいますでしょう。まだの人は、ぜひとも見ないで祈りできるようになりますように。毎週教会学校へ来ると、いつの間にか覚えられますよ！ ただし、スラスラ言えるのがいいではありません。ゆっくりお祈りの中身を味わいつつ、お祈りするのは。スゴイ中身ですよ！

祈り 天のお父様、どうお祈りしていいかわからない時や心が不安な時とかに「主の祈り」をお祈りしていきます。

3月6日（水）



ルカ 11・5～7

友だちが旅先からわたしのところに
着いたのですが、何も出すものがあ
りませんから。 6節

「主の祈り」を教えてくださいと、イエ
ス様は、「お祈りはね、こういうふうにする
といいですよ」という、たとえ話をしてく
だしました。ひとりの人が、友人のところに真
夜中にでかけて行って、「パンを三つ貸してく
ださい。友人が来たが、あいにく今、うちには
何も出してあげられないので」と言うします。
お祈りはちょうどそのように、ないので与えて
くださいとお願ひすることです。しかし、真夜
中だし、その友人は当然おことわりするにき
まっています。

いの祈り 天のお父様、お祈りがいつでもすんなりと
こたえられるのではないことが、このたと
えでわかってきました。

3月7日（木）



ルカ 11・8

友人だからというのでは起きて与え
ないが、しきりに願うので、起き上がって
必要なものを出してくれるであろう。 8節

「もう戸は締めてしまったし、子どもたちも
わたしも床の中だ。今起きて何もあげられませ
んよ」と断られたとしてもです。「いや、どう
してもパンを三つ貸してほしいのです。旅先か
らうちへ着いた友だちのために、ぜひとも、お願
ひです。ドン、ドン、お願いしますよ、ドン、
ドン、ドン」て、しつこく、うるさく、貸して
もらえるまで求めると、きっと「うるさいなァ、
わかったよ」とパンを出してくれるにちがいな
いですよ、とのイエス様の教えです。

いの祈り 天のお父様、お祈りとは、すぐにあきらめ
たり、やめたりしないで、しきりに求める
べきだと知り、励みます。

3月8日（金）



ルカ 11・9～10

すべて求める者は得、捜す者は見
だし、門をたたく者はあけてもらえる
からである。 10節

「求めなさい」「捜しなさい」「門をたたきな
さい」と、お祈りが、だんだんとはげしくなっ
ていることをあらわしていますよ。わたしたち
のお祈りは、どのくらいのところでしょうね？
求めてみて、「ア、きかれないや」でとまった
ことが多いのかな？ それでは、「ここまで教
えられた以上、捜してみよう！門をたたいてみ
よう！それもはげしくやってみよう！」と思
いますよね。きょうの約束のみ言葉には、「す
べて」、そう「みんな」なのですから！

いの祈り 天のお父様、あなたのすばらしいお約束
を信じて、求め、捜し、門をたたき、与え
られるまでお祈りします！

3月9日（土）

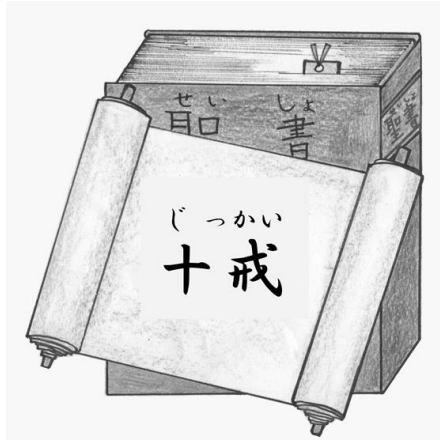


ルカ 11・11～13

天の父はなおさら、求めて来る者に
聖霊を下さらないことがあろうか。 13節

あなたがお父さんに、「父さん、ぼく、お魚食
べたいよ」って言ったら、お父さんが「そらっ」っ
て、へびをくれるなんてことがあり得る？ あな
たがお父さんに、「お父さん、わたし、卵が食べ
たいの」と言うと、お父さんが「ほらっ」って、
さそりをくれたりしたら卒倒してしまいますよ
ね。考えられないことです。ましてや、私た
ちのために一番必要な助け主である聖霊を天の
父なる神様は、わたしたちが求めるならば、喜
んで与えてくださいます。

いの祈り 天のお父様、わたしたちのお祈りを助けて
くださる聖霊なるお方を与えてくださっ
て、ますます祈らせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 16・19～31
死後への備え
彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよからう。

目標

ルカ 16・29
死後の裁きの存在を知り、み言葉によって備える者になる。

3月10日（日）

聖書
聖句

ルカ 16・19～3
彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよからう。 29節

「人間、死んだらおしまい。消えてなくなるだけさ」と考える人もいます。あなたは？ 聖書は神様の言葉で、ずーっとそのとおりのことが起っているのです。聖書の言うことに絶対まちがいはないのです。死んでおしまいではなく、天国か、地獄か、そのどちらかで、永遠を過ごすことになるのです。なんておごすかでしょう。行ってからでは遅いのです！ この金持のように、人に伝えることもできません。

いの
祈り

天のお父様、人はだれでも死を迎えます。死んだあとどうなるのか、しっかりみ言葉によって備えさせてください。

3月11日（月）

聖書
聖句

ルカ 16・19～21
ある金持がいた。彼は紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。 19節

「いいなあ、お金持は！ かつこい高い高価な服を着て、毎日、好き放題に、食べたり飲んだり、ぜいたくに遊び回れるなんて！」と思いますか？ かと思えば、神様、不公平じゃないですかと言いたくなるかわいそうなラザロの姿。貧乏で全身でき物でおおわれて、そのでき物を犬になめられるなんて！ ラザロとは「神はわが助け」という意味の名前で、そんなあわれな姿でしたが神様を信じていた人だったのです。

いの
祈り

天のお父様、人の一生は地上だけではないと思うと、この二人についていろいろ考えさせられてしまいます。

3月12日（火）

聖書
聖句

ルカ 16・22～23
この貧しい人がついに死に、御使たちに連れられてアブラハムのふところに送られた。 22節

やっぱり！ ということですね。名前のとおり、神様を信じていた貧しい人ラザロがついに死にました。お葬式さえ、だれにもしてもらえなかったようです。でも御使たちに連れられて、天にいた信仰の父アブラハムのふところに送られていきました。金持も死に、きっと盛大なお葬式をしてもらったのですが、なんと苦しい黄泉にいるではありませんか！ そこからあのラザロがアブラハムといるのを見たのでした。

いの
祈り

天のお父様、死んでのち、どこへ送られるのかは重大です。あなたを信じてまがいなく天国に行きたいです。

3月13日（水）



ルカ 16・24～26

ラザロをおつかわしになって、その指先を水でぬらし、わたしの舌を冷やさせてください。 24節

冬になればたき火をします。身体が暖まっ
てうれしいのですが、そのたき火の炎の中に入
ると大変です。ギャーッ！ っととび出で
しょう。ここの金持はそんな炎の中でずーっ
といて苦しみ続けるのですから、まさに地獄、
黄泉の苦しみです。ラザロをおつかわしてくだ
さいとお願いしても、あなたとわたしたちの間
には大きな淵があって、どちらからもそこを越
えて行くことはできませんよとの答です。恐
ろしいばかりです。

いの祈り 天のお父様、一度この地獄の炎の中に入
れられると、もう決して二度とそこからは
出られないと知りました。

3月14日（木）



ルカ 16・27～29

父、ではお願いします。わたしの父
の家へラザロをおつかわしてください。 27節

「では、せめて、まだ地上にいるわたしの五人
の兄弟のところにラザロをおつかわしてくだ
さって、こんな苦しい所へ来るのがないよう
に、伝えさせてください」と、金持はアブラハ
ムにお願いします。アブラハムは答えます、「彼
らにはモーセと預言者とがある。それに聞くが
よからう」と。わざわざラザロが行かなくても、
モーセや預言者はちゃんと神の言葉を語ってい
るし、神を信じるように勧めているのだからと。

いの祈り 天のお父様、今、わたしたちにも大切な
聖書を通して、あなたが人生で一番重要
なことを教えていてくださり感謝です。

3月15日（金）



ルカ 16・30～31

死人の中からよみがえってくる者があ
っても、彼らはその勧めを聞き入れ
はしないであろう。 31節

「いえいえ、アブラハムさん、さすがに、死
人の中からだれかが兄弟たちの所に行っ
てくれるならば、きっと、彼らは悔い改めるに
ちがひありません」と、金持は言います。アブ
ラハムは、「その考えは甘いよ」と言わんばかり
です。「もし彼らがモーセにも預言者にも耳
を傾けないなら、たとえ死人の中からよみが
えってくる者が言っても、彼らは聞き入れはし
ないよ」と。み言葉にしっかり聞きたいね！

いの祈り 天のお父様、あなたの聖書のみ言葉をよく
よく聞いて、死んだののために、よい備
えができるよう助けてください。

3月16日（土）



ヘブル 9・23～28

一度だけ死ぬことと、死んだ後さば
きを受けることが、人間に定まっ
ている。 27節

ここにハッキリと記されています。だれも死
んでおしまいではないのです。お墓に入っ
ておしまいでもありません。どんな人でも、金持で
も貧しい人でも必ず一度は死に、そして、死
んだ後、さばきを受けることがちゃんと、神様
によって定められています。その時、わたしの罪の
代わりに十字架で一度だけ死んで、よみがえ
ってくださった救い主イエス様を信じるなら、
永遠の天の御国に入れてもらえます。信じま
しょう。

いの祈り 天のお父様、あなたが準備してしてくださ
る天国に送っていただくために、しっかりと
み言葉に聞き従います。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 21・1～4
神に喜ばれる献げ物
あの貧しいやもめはだれよりも
たくさん入れたのだ。

目標
ルカ 21・3
すべてをご存じの神に喜ばれる
献げ物をする。

3月17日(日)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4
あの貧しいやもめはだれよりもたく
さん入れたのだ。 3節

♪いまささぐるそなえものを、主よきよめて、
お受けください。アーメン♪ わたしたちは
毎週日曜日、教会学校で献金の歌を歌いなが
らおささげします。「イエスは目をあげて……
見られ」とあります！ イエス様はわたしたちの
献金を見ておられるのです！ ここで、一番たく
さん献金を入れたのは、あの貧しいやもめ（夫
が亡くなった婦人）だとイエス様は言われます。
えっ!? 最低のレプタ銅貨2枚をささげた人で
すか!?

祈り
天のお父様、本当にあなたに喜ばれる
献金はどのように、どれくらいしたらいい
のか、今週しっかり学びたいです。

3月18日(月)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4
これらの人たちはみな、ありあまる
中から献金を投げ入れた。 4節

金持たちがやってきて、さいせん箱に献金を
投げ入れます。ジャラジャラ、ザザーッって。
まわりの人たちは、目をまんまるくして、「ス
ゴイ!」と思いながら、つばを飲んで驚いて
いたかもしれません。投げ入れる金持たちも鼻
を高くして、「どうだ!」っていう思いで入れ
たかもしれません。ところがです。イエス様か
ら見れば、やもめの献金より少ないというわけ
です。それはありあまる中からささげたからで
す。

祈り
天のお父様、イエス様の見方と、わたした
ちの見方とは、あまりにもちがっている
ことがよくわかりました。

3月19日(火)

聖書
聖句

ルカ 21・1～4
あの婦人は、その乏しい中から、持っ
ている生活費全部を入れたからであ
る。 4節

レプタ銅貨2枚のささげもの、これは献金と
してゆるされていた「最低の金額」だったので
す。それにもかかわらず、そのレプタ2枚をさ
さげた貧しいやもめが、だれよりもたくさん入
れたのだと、イエス様が言われました。という
のは、その献金はやもめの生活費全部だったか
らです。つまり、この婦人は『全部』を、神様
におささげしたというわけです。ですから、だれ
よりもたくさんささげ、神様に喜ばれたのでし
た。

祈り
天のお父様、貧しいやもめの婦人はきっ
と、心からあなたに感謝し、喜んでお
ささげたのです。わたしもなりたいで
す。

3月20日（水）



マラキ 3・6～9

しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでいる。 8節

ドロボーがおうちに入った！ そんな恐ろしいことがありましたか？ その時見つけたら、「ドロボー!!」って叫んで追っかけるでしょう。110番に電話するでしょう。何と、神様はマラキという預言者を通して、「あなたがたはドロボーだ！」って、ユダの民に言われます。「わたしのものを盗んでいる」ってね。「え？ なぜですか？」と民が言い返すと、「十分の一とささげ物をもって」と神様は言われます。わたしたちは？

いの祈り 天のお父様、あなたの物を盗むなんてことはしたくないです。どうしたらあなたに喜ばれる献金ができるか教えてください。

3月21日（木）



マラキ 3・10

わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。 10節

100円玉が10個あったら、わたしのものは9個、つまり900円、神様のものは1個、つまり100円です。これが「十分の一」の献金ですね。へー、神様のものは、たったの1個でいいの？ と思ってしまうませんか?! マラキが預言していたころ、「十分の一」を分けても、それを全部、神様の倉に持ってきて、おささげしようとはしなかったのです。わたしたちはみ言葉にしたがって、おこづかいの十分の一をおささげしましょう。

いの祈り 天のお父様、お金はよい事にも悪い事にも使われます。十分の一を神様の尊いご用のためささげさせてください。

3月22日（金）



マラキ 3・10

これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふれる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。 10節

十分の一でいいのです！ 本当に十分の一をおささげして、神様をためしてごらん下さい！と言われます。そうすると、神様は天の窓を大きく開いて、あふれる恵みを注いでくださるとの、お約束です。お米や麦を缶の中に入れてゆすってみると…すきまがつんで、「あれ？ まだ入るよ」ということになります。そのように、神様はあふれる恵みをゆすり入れてくださるとの、驚くべきお約束なのです！

いの祈り 天のお父様、み言葉に従って、やってみるのがとても楽しみです。これからちゃんと十分の一献金をします。

3月23日（土）



ローマ 12・1～2

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。 1節

「神様に最高に喜んでいただけるささげもの」は？ あのやもめさんは、心より神様に感謝し、喜びをもって、そして、神様はきっと必要を満たしてくださるとの信仰をもって、生活費全部をささげました。それは自分自身を、自分の命をおささげすることでした！ 実は、わたしたちのからだも命もすべて、神様からいただいているものです。神様に、ぜ～んぶおささげして当たり前。神様は喜んで受け入れ、用いてくださいます。

いの祈り 天のお父様、小さな貧しいわたしですが、ぜ～んぶあなたにおささげします。あなたの清い御用に用いてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 22・31～34、54～62
キリストのまなざし
主は振りむいてペテロを見つめられた。
ルカ 22・61

目標

すべてを見抜いた上で、赦しと回復を与える主のまなざしの中で生きる。

3月24日（日）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34、54～62
主は振りむいてペテロを見つめられた。
61節

わたしのことって、もちろん、わたしが一番よく知っているわよ、と言いますか？ ところがそうではないということがこのペテロとイエス様のお話しでよくわかります。「こんなはずじゃなかった…」と、ペテロ自身が一番ビックリしていたのです。その時、そばを通り過ぎて行かれるイエス様が自分を見つめられるまなざしを見ました。ペテロだけが見たまなざし!! ゆるしのまなざしでした。

祈り 天のお父様、ペテロを一番よく知って祈ってくださったイエス様がわたしのことも知っていてくださり感謝します。

3月25日（月）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34
わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。
32節

「ふるい」ってわかりますか？ 竹で編んだもので、ゆさゆさゆすったり、空中にあげたりして穀物の殻を飛ばして、中に実だけが残るようにする道具です。ちょうどサタンも、そのように人をふるいにかけて落とそうとします。イエス様は、「シモン・ペテロよ、あなたもそうされて、失敗してしまうよ、でもあなたの信仰だけはなくならないように祈りしたから、立ち直ったら兄弟たちを力づけてあげるんだよ」と言われます。

祈り 天のお父様、人はだれでも弱くて、失敗します。でもそんなわたしのために、祈りしてくださるイエス様に感謝です。

3月26日（火）

聖書
聖句

ルカ 22・31～34
主よ、わたしは獄にでも、また死に至るまでも、あなたと一緒に行く覚悟です。
33節

「とんでもない！ イエス様。サタンのふるいなど何でしょう？ わたしはあなたとなら獄にでも一緒しますよ。たとえ死ぬようなことになっても、どこまでもあなたと一緒に行く覚悟は十分にできていますよ」と、ペテロはきくと、キッパリと言ったにちがいません。もちろん、ペテロは本気でそう言ったのです！ そうするつもりだったのです。本当に。でも自分の本当の姿って、わかっていないのですね。

祈り 天のお父様、「本当のわたし」をあなたは知らせてくださることがよくわかりました。大切だと思えます。

3月27日（水）



ルカ 22・31～34

きょう、^{にわとり}鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう。
34節

イエス様は、本当に不思議なお方です。これからペテロの身に起ころうとすることを、とても細かくハッキリと言われました。マルコ 14・30 には、「あなたによく言うておく。きょう、今夜、にわとりが二度鳴く前に、そう言うあなたが、三度わたしを知らないと言うだろう」と、なんと、にわとりが鳴く回数まで言うておられるではありませんか！ まさに、「全知」、すべてをご存知の神様のひとり子なるお方ですね！

いのり 天のお父様、イエス様の目には、わたしのすべてが丸わかりなのだと思って、あなたにおまかせして歩みます。

3月28日（木）



ルカ 22・54～55

ペテロは遠くからついて行った。
54節

ついにオリブ山のゲッセマネの園で、イエス様は捕えられてしまいました。ひっぱられて、大祭司の邸宅へつれて行かれます。ペテロの心の中が読めるみたいです。イエス様のことがとっても気になる、でも、あまり近づいて行くのも恐ろしい…だから、遠くからついて行ったのでした。中庭のまん中にはたき火があって、人々は一緒にそこにすわっていたので、ペテロも何食わぬ顔をしてそっとすわりました。

いのり 天のお父様、「獄にまでも死にまでもあなたと一緒に」と言ったペテロの気持ちが変化してきているのがわかります。

3月29日（金）



ルカ 22・56～60

ペテロはそれを打ち消して、「わたしはその人を知らない」と言った。
57節

「この人もイエスと一緒にいました」。突然、女の人の声がひびきました。ひとりの女中が火のそばにすわっているペテロを見て、叫んだのです。すると、ペテロはそれを打ち消して、「わたしはその人を知らない」と言うてしまったのです！ ペテロも自分の口から出たことばに耳を疑ったかも。またしばらくしてほかの人に「仲間だ」と言われ「ちがう」と答え、一時間後、三度目に「知らない」と言うてしまったのでした。

いのり 天のお父様、イエス様の言われたとおりになりました。ペテロの心の中はきっと怖い気持ちで一杯だったのでしょう。

3月30日（土）

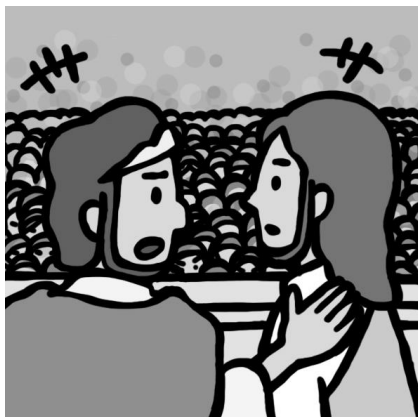


ルカ 22・61～62

そして外へ出て、激しく泣いた。
62節

「コケコッコー！」 ペテロはハッとしたでしょう。その時、そばを通られるイエス様がふりむいてペテロを見つめられたのでした。じっとペテロの眼をのぞき込むようにして見つめられたのです。ペテロはそのイエス様のまなざしの中で主のお言葉を思い出して、外へ出て、男泣きに激しく泣きました。そのイエス様のまなざしは、ペテロしか知りません。それは「祈ったよ、ゆるしているよ」と語ってくださっていたにちがひありません。

いのり 天のお父様、すべてを見ておられ知っておられ、でもゆるしてくださるイエス様のまなざしのうちを歩きたいです。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 23・13～25

身代わりの十字架

神はわたしたちの罪のために、
罪を知らないかたを罪とされた。

Ⅱコリント 5・21

目標

キリストの身代わりの十字架
による罪の赦しを受け取る。

3月31日（日）

聖書
聖句

ルカ 23・13～25

神はわたしたちの罪のために、罪を
知らないかたを罪とされた。

Ⅱコリント 5・21

わたしたち人間は、みんな罪の中に生れてき
ました。初めの人アダムのためです。だから
教えてもらわなくても、うそもつけるし、わ
がままも言えるし、けんかもできる！ のですね。
でもイエス様は全然、罪を知らないし、一つも罪
を犯したことのないお方でした。そのイエス様
が十字架につけられたおかげで殺人犯のバラ
バがゆるされたように、罪深いわたしの身代わ
りにイエス様が死んで罪がゆるされるのです。

いの
祈り

天のお父様、イエス様の身代わりの十字
架を心よりありがとうございます。罪が
ゆるされる喜びを感謝します。

4月1日（月）

聖書
聖句

ルカ 23・13～16

この人はなんら死に当るようなこと
はしていないのである。 15節

ローマ皇帝テベリオに任命されたユダヤ州
第5代総督のポンテオ・ピラトは、ユダヤ人が
訴えてきたイエスには、訴えられるような罪
は少しもなかったと祭司長たち、役人たち、民
衆に言いました。その時のユダヤの王ヘロデ
も同じように言って、ピラトから送られてきた
イエスを送り返してきました。「だから、彼を
むち打ってから、ゆるしてやることにしよう」
と。イエス様は一つも罪を犯されなかったので
当たり前でした！

いの
祈り

天のお父様、ひどいさばきさえしたピラト
やヘロデでさえも、イエス様にはどんな罪
もみとめられなくて当然でした。

4月2日（火）

聖書
聖句

ルカ 23・17～19

彼らはいっせいに叫んで言った、
「その人を殺せ。バラバをゆるしてく
れ」。 18節

なぜか祭があるたびに、ピラトはひとりの
囚人をゆるしてやることになっていたよう
です。それでピラトは「むち打ってから、ゆるし
てやることにしよう」と言ったのでした。とこ
ろがです。ユダヤ人たちは、そんなことはあつ
てはならないとばかりに叫んで言いました、
「その人を殺せ。バラバをゆるしてくれ」と！
バラバ…この人は暴動と殺人の罪で獄にいた人
なのです。この人をゆるせですって…？！

いの
祈り

天のお父様、人間の判断には狂いが多い
です。さらに多く集まる群衆となるとま
すます狂うことがよくわかります。

4月3日（水）



ルカ 23・20～21

ピラトはイエスをゆるしてやりたい
と思って、もう一度かれらに呼びか
けた。 20節

ある時には、とてもひどいさばきをしたピラ
トも、このイエス様のことについては、「イエ
スをゆるしてやりたいと思って」いました。そ
こで、もう一度、彼らに呼びかけました、「彼を
ゆるしてやることにしてはどうか」と。しかし、
どうでしょう。彼らはますます声高く叫び、い
え、もうわめきたてて言いつづけました。「十
字架につけよ、彼を十字架につけよ！」と。恐
しい恐しい叫びが響き続けたのです。

いの 祈り てん とうさま ぐんしゅうしん り
天のお父様、「群衆心理」とはとても怖
い。「赤信号みんなで渡れば怖く
ない」とは、とんでもない事です。

4月4日（木）



ルカ 23・22～23

彼らは大声をあげて詰め寄り、イエ
スを十字架につけるように要求し
た。そして、その声が勝った。 23節

それでもまだピラトの良心（みんなの心に
神様が与えていてくださるものですね。悪いこ
とをするとチクチク痛む心です）は、彼らの叫
びを受け入れることができません。それで、三度
目に言います、「この人が一体どんな悪事をし
たのか。死に当る罪は全くみとめられない。ゆ
るそう」と。しかし、です。今度は彼らは大声を
あげるだけでなくピラトに詰め寄り「十字架
に！」と要求します。そしてついに、その声が
勝ったのです。

いの 祈り てん とうさま ひと りょうしん こえ き
天のお父様、ひとりの人が、良心の声に聴
き従いぬくことがどれほどに難しいこ
となのか、よくよくわかります。

4月5日（金）



ルカ 23・24～25

ピラトはついに彼らの願いどおりに
することに決定した。 24節

ピラトの良心の声は、群衆の声に打ち負か
されてしまいました。そして、三度も頑張った
ピラトでしたが、ついにバラバをゆるし、イエ
スをユダヤ人たちの手に渡すことに決定した
のでした。普通に考えても不可解な、つまり、
とてもわからない、おかしいことです。罪のか
けられないイエス様が十字架で処刑されて、
恐しい暴動・殺人犯のバラバがゆるされる！
まさに身代わりの十字架そのものだったのだ
ですね。

いの 祈り てん とうさま
天のお父様、このバラバがわたしなのだ
とよくわかりました。イエス様の身代わり
の十字架によるゆるしを感謝します。

4月6日（土）



Ⅱコリント 5・14～17

生きている者がもはや自分のために
ではなく、自分のために死んでよみがえった
かたのために、生きるためである。 15節

罪深いわたしの罪が、全部ゆるされる所、そ
れがイエス様の身代わりの十字架です。そして
そればかりでなく、このように考えると、パウ
ロは書いています。つまり、イエス様がわたし
たちすべての者のために死んだことは、すなわ
ちわたしたちもそこで一度死んだことになりま
す。そして、今生きている者はもはや自分のた
めではなく、死んでよみがえられたイエス様のた
めに生きる者とされています。本当に新しい
生き方ですね。

いの 祈り てん とうさま さま
天のお父様、イエス様のために、イエス様
と共に、イエス様を心に生きられる祝福
を本当にありがとうございます。